

事業所名		ほーパデイサービスセンター・キララ				支援プログラム（参考様式）		作成日		R6	年	10	月	16	日
法人（事業所）理念		障害がある子供達も健常児と同様に放課後や休日にのびのびと活動でき、地域の一員として地域に根ざした生活が出来るように支援を行う。													
支援方針		5年、10年先を見据えて手法にこだわる事なく、個々の性格や時々の状態により支援方法を検討し、必要なものを取り入れながら子供達が成長出来るよう積み重ねの支援を行う。タブレットや電子機器を使わずアナログで落ち着いた活動が出来るよう支援する。													
営業時間		平日	13時	0分から	19時	0分まで	送迎実施の有無		ありなし						
		学校休業日	9時	0分から	17時	0分まで									
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・来所時は手洗い・消毒・検温を毎回し衛生管理を身に付けてもらい、定時での給水・トイレ誘導を行い習慣になるように声かけをしています。定期的な利用・変更の少ないスケジュールを組み、見通しの良い部屋のレイアウトを行い、固定された職員を配置して安心、安定して来所してもらえる場所づくりを行っています。													
	運動・感覚	・ウォーキング等で気分転換をしてストレス発散及び基礎的運動を行っていき、平均台やジャングルジム、ブランコ等の地域の公園遊具を使いバランス感覚の練習や、広い場所ではサッカーや野球、鬼ごっこ、縄跳び等で体の使い方の練習を行い友達との関わりの中で、呼応、協調運動を養っていく支援をサポートします。・蛍光灯の光量調節をしており視覚過敏の抑制、イヤーマフ、耳栓配備により聴覚過敏の抑制をしています。													
	認知・行動	・スケジュールの組み立てや時計を使った時間の認知練習、カレンダー作りや数量作りによる日付、数量の認知練習、折り紙、貼り絵、パズルなどによる指先を使った形状認知形成、季節に合わせた工作を取り入れた感性形性や、ブロックや立体工作を取り入れ空間認知形成を行っています。													
	言語コミュニケーション	・長期休みの朝礼の司会や約束事を読んでもらう、昼食時の挨拶の号令をして成功体験を増やしてもらったり、クイズやしりとりゲームの中で言語、コミュニケーション練習を取り入れています。個別での文字や数字練習を行い文字の認識、発語練習を行っています。													
	人間関係社会性	・外活時は近所の公園へ行き地域の友達に認知してもらい、時には一緒に遊びに参加しルールのある遊び（鬼ごっこ等）やパッティングの順番を決めてルールや順番を遊びの中で身に付くように練習をしています。おもちゃでのごっこ遊びでは役割り分担のある遊びを取り入れています。													
家族支援		保護者の方が関り方や対応の仕方等で悩んだ時にはいつでも相談出来るよう随時面談や電話での相談を」受けつけています。年に一回、支援計画作成のために面談を行い今の困り事や伸ばして欲しいポイントを聞いている。					移行支援		卒業に向けて高校生になると色々な作品作りに取り組んでもらい、作品作りを通して細かい手作業の練習等を行っている。						
地域支援・地域連携		外活では近所の公園へ行き、遊びの輪の中に地域の子ども達にも仲間に入ってもらい利用者さんの存在、職員の存在をアピールしている。					職員の質の向上		各職員がで利用者さんに対する対応の仕方、困り事など気付いた事などを月に一度はキララ、全体で会議を行い情報交換共有している。						
主な行事等		お花見、川遊び、クッキング、クリスマス会、季節の工作作り、保護者面談、36項目アセスメント（年1回）													